

参天製薬株式会社

2017年度第1四半期連結業績概要



常務執行役員

チーフ・ファイナンシャル・オフィサー（CFO）

兼 財務本部長

越路 和朗

2017年8月1日

SANTEN PHARMACEUTICAL CO., LTD.

天機に参与する

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、これによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、社会への寄与を行う。

世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニーの実現に向けて



現中期経営計画

	方針	実績
製品創製	持続的な成長を可能とするための 製品創製への変革、生産性向上実現 積極的な事業開発投資の継続	<ul style="list-style-type: none"> 承認、上市⇒Tapcom, Ikervis 開発⇒DE-109、117、122の進展 新製品導入・獲得⇒DE-126、128
事業展開	アジア・EMEAでの事業成長および 新規市場参入によるプレゼンス向上	<ul style="list-style-type: none"> 国内医薬新製品比率向上⇒44% (FY13)→71% (FY16) 国内OTC新製品によるシェア拡大 アジア各国自販化による基盤強化 EMEA販売国増加
組織・人材	持続的な成長を実現するための人材育成と 組織構築、およびグローバル・マネジメント体制の 強化	<ul style="list-style-type: none"> 新人事制度導入 次世代を担う人材への研修実施、育成の推進

2017年度 第1四半期 連結業績概要

2017年度第1四半期 決算概要

～売上・営業利益ともに2桁成長

国内、海外各事業において売上が好調に推移、販管費・研究開発費の増加を吸収し、増収増益。

◆売上収益 : 559億円、対前年比11.9%。

- ・国内医療用医薬品事業 348億円 (対前年比+5.4%)、一般用医薬品事業 40億円 (対前年比+35.3%)
- ・アジア事業 73億円 (対前年比+21.4%)、EMEA事業 87億円 (対前年比+29.1%)

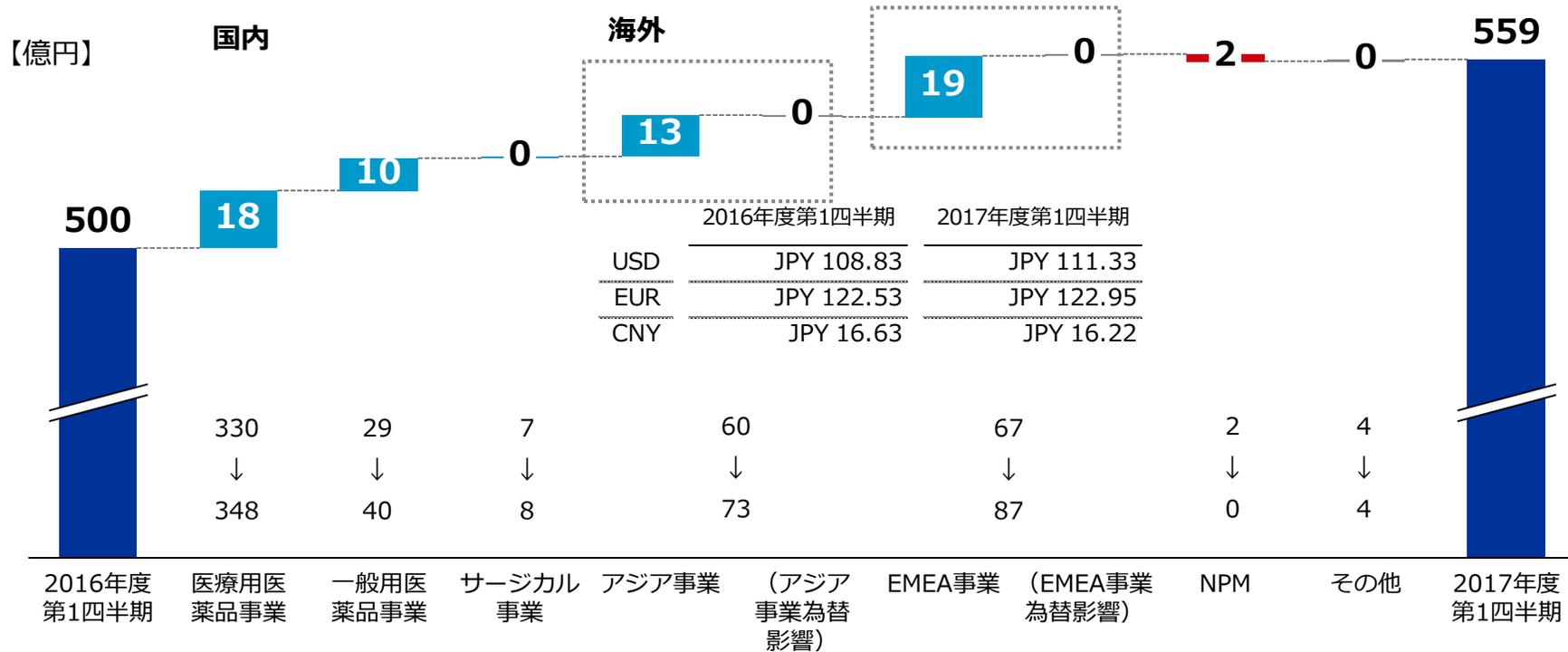
◆営業利益 : (コアベース) 137億円、対前年比10.9%。(フルベース) 121億円、対前年比11.5%。

(億円)	2016年度		2017年度		
	第1四半期	第1四半期	対前期 増減率	通期 業績予想	対業績予 想比率
(コアベース)					
売上収益	500	559	11.9%	2,180	25.7%
売上原価	-184	-216	17.3%	-810	26.6%
売上総利益	316	344	8.7%	1,370	25.1%
販管費	-141	-151	6.8%	-680	22.1%
研究開発費	-52	-56	8.8%	-250	22.5%
営業利益	124	137	10.9%	440	31.1%
当期利益	88	100	14.0%	312	32.0%
(フルベース)					
営業利益	108	121	11.5%	374	32.2%
当期利益	73	89	21.7%	268	33.3%
USD	108.83	111.33	-2.3%	110.00	-1.2%
EUR	122.53	122.95	-0.3%	120.00	-2.5%
CNY	16.63	16.22	2.5%	16.50	1.7%

+:円高、-:円安

2017年度第1四半期 売上収益の推移

～全事業が高い成長に貢献



国内事業

医療用医薬品	アイリーア、アレジオン、ジクアスを中心とした新製品が順調に伸長、+5.4%。
一般用医薬品	インバウンドに加え、新製品・販促企画による国内需要取込。+35.3%。
サージカル事業	医薬品事業と連携した営業活動に成果、+4.7%。

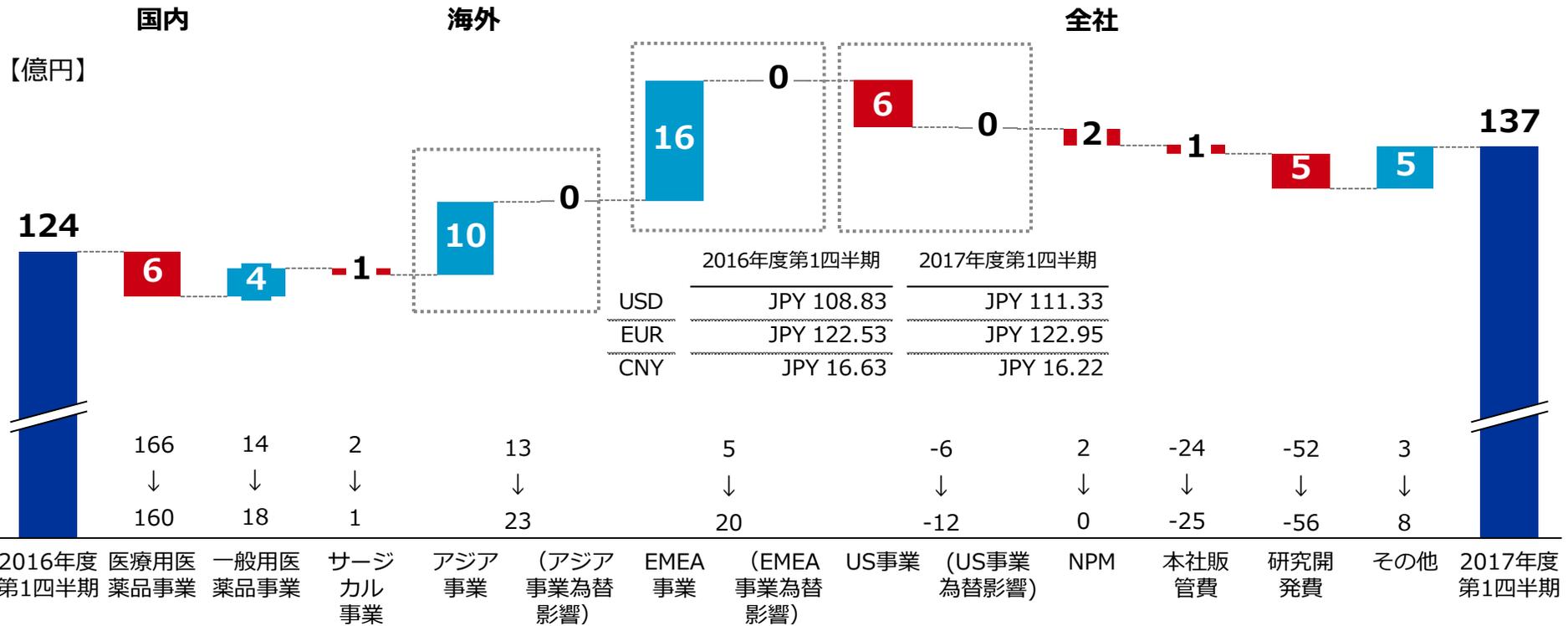
海外事業

アジア事業	中国、韓国の順調な推移に加えて、アセアン市場でも大幅成長（+75.9%）し、全体で+21.4%。（円建て）
EMEA事業	旧MSD製品ならびにIkervisの成長により、+29.1%。（円建て）
NPM	MSD社からの権利移管がほぼ完了したことに伴い、受領なし。

*NPM（Net Profit Margin: 販売承認の移管が未完の製品で、MSD社に販売を委託しているものについての収入）

2017年度第1四半期 コア営業利益推移

～海外事業が高成長を牽引



国内事業

医療用医薬品	前年同期の一過性要因による原価低減の反動を受け、当第1四半期においては減益。
一般用医薬品	売上成長に応じた利益の伸長。

研究開発費

パイプラインの進展（DE-117、122、126）に加え、MicroShunt開発により、費用増加。

海外事業

アジア事業	売上成長と費用コントロールによる利益の伸長。
EMEA事業	

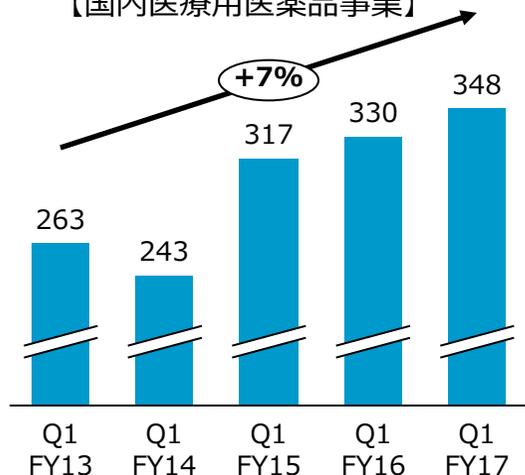
US事業 US市場参入に向けた準備を中心として費用が増加。

事業別実績推移（国内）

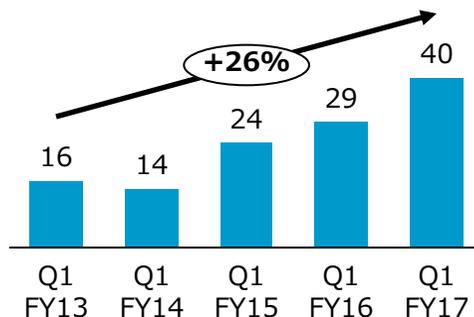
（億円、CAGR:%）

【国内医療用医薬品事業】

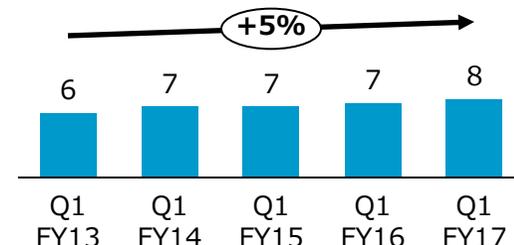
売上収益



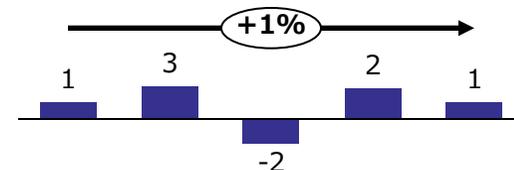
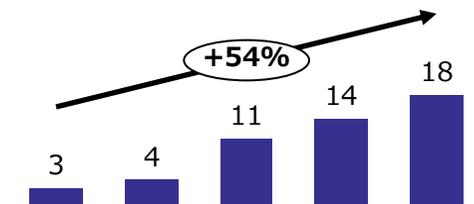
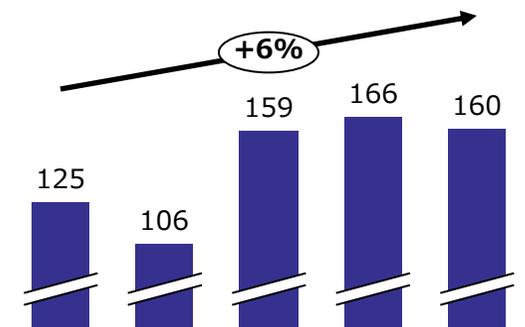
【一般用医薬品事業】



【サージカル事業】



R&D費前
営業利益

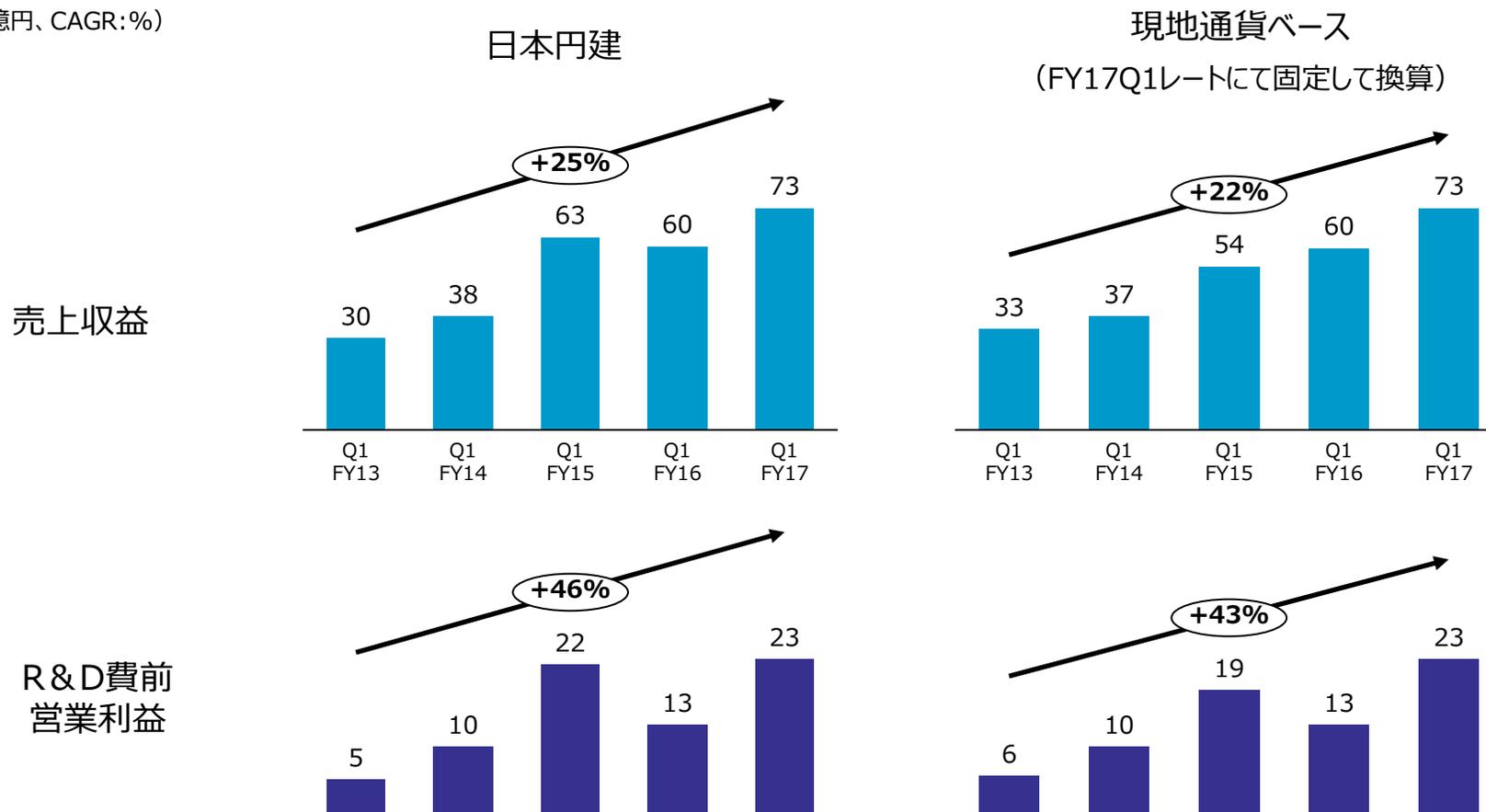


アイリニア等新製品の伸長に伴い、売上収益が順調に増加。前年度の一過性要因を考慮すると17年度第1四半期も実質増益。アレジオンなどの高収益品により通期ベースでの利益の伸長にも注力。

FX類（インバウンドならびに販促企画）、ポータエ（インバウンド）に加えて昨秋の新製品も好調に推移。

事業別実績推移（アジア事業）

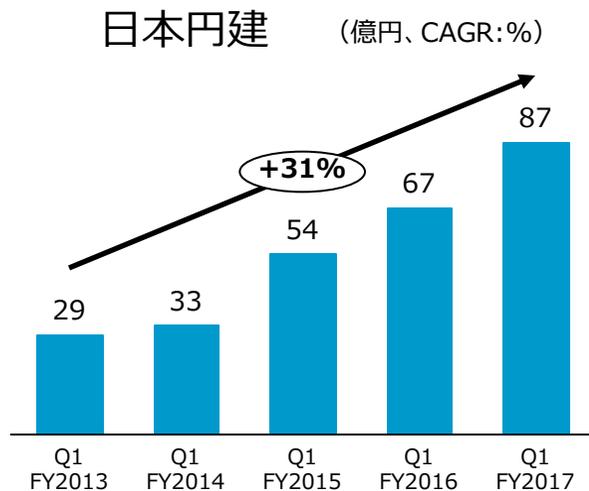
(億円、CAGR:%)



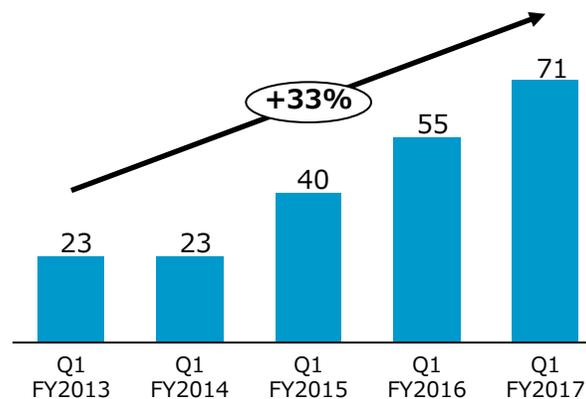
中国・韓国・ベトナムを中心とし、その他の市場においても順調に製品浸透が進む。事業基盤構築も進んだことより、今後は売上増加範囲内の投資にて継続した成長を図る。

事業別実績推移 (EMEA事業)

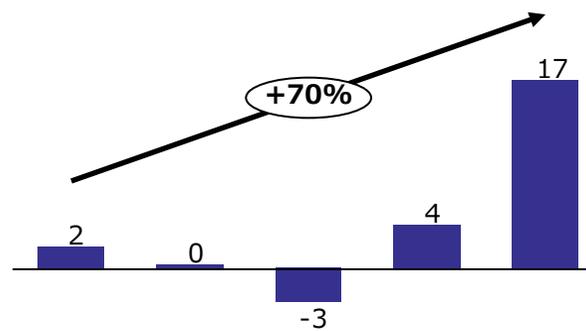
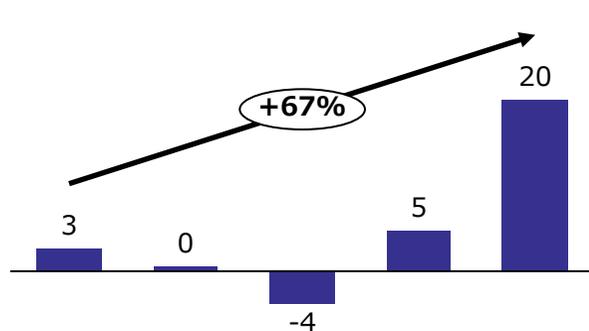
売上収益



現地通貨建 (百万EUR、CAGR:%)



R&D費前
営業利益



自社ならびにMSD社から承継した緑内障製品が引き続き順調に浸透。(対前年比: コソプト +7.7%、タブロス +20.6%、トルソプト +12.4%)

Ikervisも対前年比+190.9%と、期初想定を上回って成長。

2017年度業績予想（5月10日から変更なし）

（コアベース）

売上収益 海外事業を中心として全ての事業において増収見込。

営業利益 将来成長に係る費用（※）が増加するも、コントロールも強化し、売上収益成長率内に抑制。コア営業利益も増益見込。

※・パイプライン進展や製品価値向上のための研究開発費

・米国市場参入準備

（フルベース）

製品に係る償却費の大きな変化や、その他の一過性の要素は見込まれず、コアベースと合致した伸長。

(億円)	2016年度		2017年度	
	実績	業績予想	業績予想	対前期 増減率
(コアベース)				
売上収益	1,991	2,180		9.5%
売上原価	-750	-810		8.1%
販管費	-617	-680		10.3%
研究開発費	-228	-250		9.7%
営業利益	397	440		10.9%
当期利益	287	312		8.8%
ROE	11.2%	12.3%		1.1pt
(フルベース)				
営業利益	325	374		15.2%
当期利益	231	268		16.2%
ROE	9.0%	10.6%		1.6pt
USD	108.64	110.00		
EUR	118.96	120.00		
CNY	16.14	16.50		

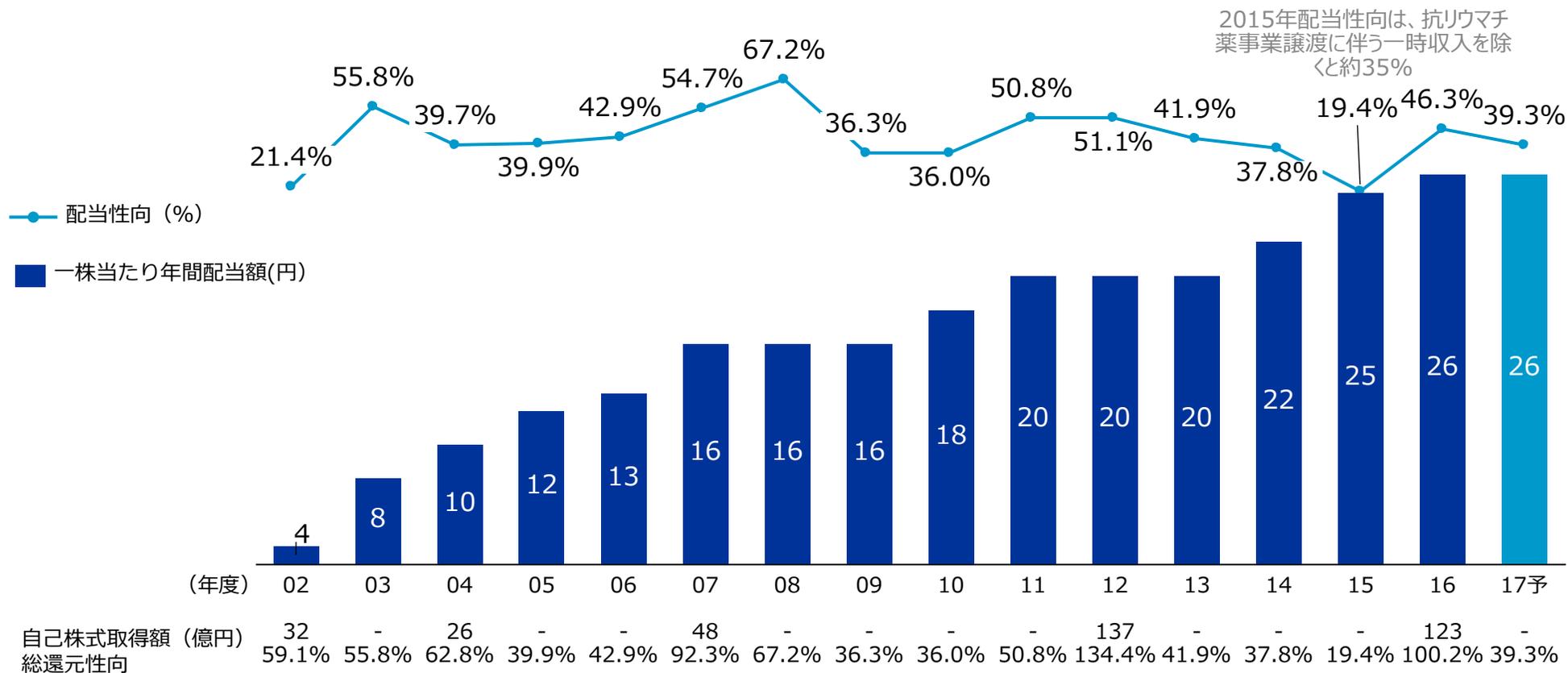
2017年度配当予想（5月10日から変更なし）

■ 年間配当

- 2016年度通期：26円
- 2017年度通期予想：26円

■ 株主還元基本方針

- 安定的、且つ、持続的な株主還元策を実施
- 研究開発、アライアンス等、将来成長のための資金を確保
- 機動的に自己株式買付を検討
- 配当性向は、40%を目途とする



*2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割実施。2014年度以前の配当額は、当該株式分割の株数を基に算出

**2013年度まではJ-GAAP、2014年度以降はIFRSを基準に算出

参考資料

(単位：億円)	2016年度 第1四半期		2017年度 第1四半期		対前期 増減率
	実績	(対売上収 益比率)	実績	(対売上収 益比率)	
売上収益	500		559		11.9%
売上原価	-184	-36.8%	-216	-38.6%	17.3%
販売費及び一般管理費	-141	-28.2%	-151	-26.9%	6.8%
研究開発費	-52	-10.3%	-56	-10.0%	8.8%
製品に係る無形資産償却費	-16	-3.2%	-17	-3.0%	4.4%
その他の収益	1	0.2%	1	0.1%	-24.8%
その他の費用	-1	-0.1%	-1	-0.1%	4.3%
営業利益(フルベース)	108	21.6%	121	21.5%	11.5%
金融収益	4	0.9%	5	0.8%	5.6%
金融費用	-10	-2.0%	-3	-0.5%	-69.8%
税引前当期利益	103	20.5%	122	21.8%	19.1%
法人所得税費用 (負担税率)	-29 28.6%	-5.9%	-33 27.0%	-5.9%	12.4% -1.6pt
当期利益 (フルベース)	73	14.6%	89	15.9%	21.7%
コア営業利益	124	24.7%	137	24.5%	10.9%
コア当期利益	88	17.5%	100	17.9%	14.0%

・国内医薬+0.8億円、一般用医薬品+2.5億円、
・アジア事業+3.0億円、EMEA事業△1.1億円、US
事業+6.3億円
・全社間接部門+1.0億円

・利益額の増加、ならびに参天本社における研究
開発費税額控除の拡大により、負担税率低下。

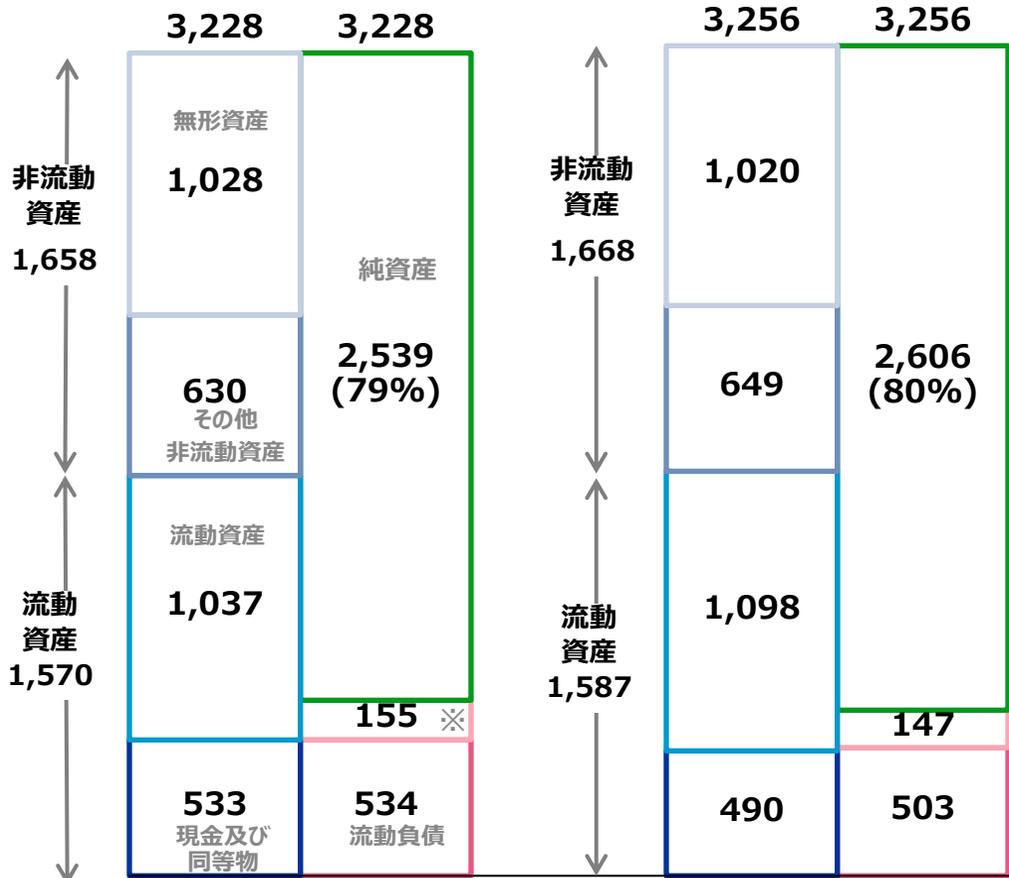
	2016年度第1四半期	2017年度第1四半期
USD	JPY 108.83	JPY 111.33
EUR	JPY 122.53	JPY 122.95
CNY	JPY 16.63	JPY 16.22

2017年度第1四半期末 財政状態の推移

2016年度末

2017年度
第1四半期末

(億円)



入金タイミングによる営業債権の増加
ならびに税金・配当支払いに伴う現金
及び同等物の減少

※非流動負債

	2016年度末	2017年度 第1四半期末	増減額
非流動資産	1,658	1,668	11
有形固定資産	286	286	1
無形固定資産	1,028	1,020	-8
金融資産	299	318	19
その他	45	45	-1
流動資産	1,570	1,588	17
棚卸資産	285	270	-15
営業債権	710	771	61
現金及び現金 同等物	533	490	-43
その他	42	57	-14
純資産	2,539	2,606	68
非流動負債	155	147	-8
長期借入金	76	61	-15
繰延税金負債	26	36	10
その他	53	49	-3
流動負債	534	503	-31
営業債務	239	237	-2
金融負債	176	147	-29
未払法人所得 税等	33	32	0
その他	86	86	0

2017年度第1四半期 売上セグメント別収益

(単位：億円)	日本		海外		合計	
	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率	売上収益	対前期 増減率
医薬品事業	390	7.8%	163	24.0%	552	12.1%
医療用医薬品	350	5.5%	162	23.8%	512	10.7%
眼科薬	349	5.5%	161	26.8%	509	11.4%
その他医薬品	2	16.2%	1	-64.9%	3.17	-44.2%
一般用医薬品	39	33.1%	1	154.1%	40	34.1%
その他の事業	7	1.5%	0	-76.3%	7	-2.7%
医療機器	6	-1.7%	0	-13.4%	6	-1.8%
その他	1	22.1%	0	-86.8%	1	-6.8%
合計	397	7.7%	163	23.7%	559	11.9%
売上比率	70.9%		29.1%			

設備投資額/減価償却費

(単位：億円)	2016年度		2017年度		
	第1四半期	通期	第1四半期		通期
	実績	実績	実績	対前期 増減率	予想
設備投資額	16	52	10	-37.6%	77
減価償却費及び償却費*	8	35	10	24.8%	38
製品に係る無形資産償却費	16	64	17	4.4%	66
メルク無形資産償却費	13	54	14	4.7%	56
Ikervis無形資産償却費	2	7	2	0.0%	7

* 製品に係る無形資産償却費および長期前払費用の償却費は除く

国内医療用眼科薬 市場概況

2016年度第1四半期

単位 億円	参天		市場		参天 シェア	順位	2017年度第1四半期		参天 シェア	順位		
	金額	対前期 増減率	金額	対前期 増減率			金額	対前期 増減率			金額	対前期 増減率
Total	389	6.7%	866	1.2%	44.9%	No.1	414	6.5%	904	4.3%	45.8%	No.1
抗緑内障剤	94	2.6%	292	4.0%	32.3%	No.1	92	-2.2%	293	0.5%	31.4%	No.1
抗VEGF薬	132	22.4%	185	-1.3%	71.2%	No.1	151	14.6%	211	14.1%	71.5%	No.1
角膜疾患治療剤	71	-2.6%	114	-0.8%	62.8%	No.1	73	3.0%	117	3.5%	62.5%	No.1
抗アレルギー剤	34	26.6%	82	14.5%	41.8%	No.1	41	20.9%	89	8.8%	46.4%	No.1
抗菌点眼剤	18	-19.4%	39	-9.6%	45.5%	No.1	15	-13.0%	37	-4.2%	41.3%	No.1

2016年 7月1日~2017年6月30日

	参天		市場		参天 シェア	順位
	金額	対前期 増減率	金額	対前期 増減率		
Total	1,598	3.0%	3,493	0.2%	45.8%	No.1
抗緑内障剤	366	-1.1%	1,145	0.6%	31.9%	No.1
抗VEGF薬	559	8.8%	771	3.8%	72.5%	No.1
角膜疾患治療剤	287	-1.6%	459	-0.8%	62.6%	No.1
抗アレルギー剤	169	23.5%	385	4.5%	44.0%	No.1
抗菌点眼剤	62	-20.2%	144	-9.9%	43.0%	No.1

2017年度第1四半期 研究開発の現状



常務執行役員
チーフ・サイエンティフィック・オフィサー
研究開発本部長

ナヴィード・シャムズ

主要PJの開発計画マイルストーン

(2017年8月1日現在)

	開発状況*	効能・効果	開発地域：マイルストーン*
DE-117	P2b/3	緑内障・高眼圧症	日本：2017年度第2-3四半期 申請
DE-126	<u>P2b</u>	緑内障・高眼圧症	<u>米国・日本：2018年1-6月 P2b完了</u>
DE-128 (<i>MicroShunt</i>)	P2/3	緑内障・高眼圧症	米国：2018-2019年 P2/3 完了、2020-2021年 上市
DE-109 (シロリムス硝子体内注射剤)	申請受理	ぶどう膜炎	米国：審査終了目標日**2017年12月24日、 2018年1-6月 上市
	P3		欧州：2017年度下期 欧州再申請
DE-122	<u>P2a</u>	滲出型加齢黄斑変性	米国： <u>2019年1-6月 P2a完了***</u> 、 2017年度 P1/2 完了

Vekacia (Verkazia) : 2017年7月に欧州医薬品庁の医薬品評価委員会より承認勧告を取得

*下線部は更新情報 **PDUFA date、***フィリピンで実施

参考資料

パイプライン及び製品の開発状況①

(2017年8月1日現在)

緑内障・高眼圧症		P1	P2	P3	承認 審査	上市	現状または更新情報
DE-117 EP2受容体作動薬	米国	▶					
	日本	▶ P2b/3					P2b/3実施中
	アジア	▶					P3実施中
DE-126 FP/EP3受容体 デュアル作動薬	米国	▶ P2b					2017年7月、P2b開始
	日本	▶ P2b					
DE-128 <i>InnFocus MicroShunt</i>	米国	▶ P2/3					P2/3実施中
	欧州	▶					

詳細は、決算短信参照。アジアは、日本、中国を除く。

パイプライン及び製品の開発状況②

(2017年8月1日現在)

角結膜疾患		P1	P2	P3	承認 審査	上市	現状または更新情報
DE-089 ジクアス点眼液	中国	▶					2012年1月、申請
DE-114A エピナスチン塩酸塩 (高用量)	日本	▶					2017年5月、P3開始
Cyclokat Ikervis/シクロスポリン	米国	▶					
	アジア	▶					2016年11月以降、順次承認
	その他	▶					2016年4月、カナダで申請
Vekacia Verkazia/シクロスポリン	欧州	▶					2016年12月、申請、優先審査指定を取得 2017年7月、CHMPより承認勧告を取得
網膜・ぶどう膜疾患		P1	P2	P3	承認 審査	上市	現状または更新情報
DE-109 シロリムス硝子体内注射剤	米国	▶					2017年2月、申請
	日本	▶					
	欧州	▶					再申請準備中
	アジア	▶					2015年4月、申請
DE-122 抗エンドグリン抗体	米国	▶ P2a					2017年7月、P2a開始

詳細は、決算短信参照。アジアは、日本、中国を除く。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements) を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

Santen

A Clear Vision For Life